

社会福祉法人 大村子供の家

創設80周年記念式典 特別講演会

共感の力

～The power of empathy～

～戦後80年、引揚孤児の歴史を未来へ～

創設者 坂田 眞瑛
(1895～1986)

児童養護施設 大村子供の家は
主に満州からの戦争引揚孤児を保護する目的で
1946年9月に創設、
時代の変遷と共に子ども・家庭に寄り添い、
今年で80年を迎えます。

スペシャルゲスト

加藤 登紀子

～旧満州ハルピン生まれ
佐世保引揚体験者～

“終戦後、帰る場所のない子ども達の日。
実に悲しかった。
幼い頃私の目もあんなだったのだろうか
脳裏から離れなかった。
多くを決意することはなかった。
ただ、この子ども達のために
全力を尽くすだけ”

創設者 坂田眞瑛の手記より

プログラム

- 開会挨拶・記念映像上映
- 基調講演 「満州からの佐世保引揚孤児(仮題)」
本庄 豊
- 特別講演 「私の戦後史」
加藤 登紀子
- パネルディスカッション
「原点を振り返り、未来を創造する(調整中)」
- 閉会挨拶

2026年 9月29日 Tue.

時間 13:00～16:00(受付開始12:30)

場所 メモリード・シーハットおおむら さくらホール
長崎県大村市幸町25番33号

参加無料

定員500名

※定員に達し次第終了

申込
QR
コード



お申し込み・お問い合わせ
社会福祉法人
大村子供の家
Tel: 0957-55-8319
e-mail info@kodomonioie.or.jp

主催／社会福祉法人大村子供の家
後援／長崎県こども政策局
大村市
大村市社会福祉協議会